

令和元年度 第1回東濃西部少年センター運営協議会 議事録

日 時 令和元年7月5日（金）15:00～16:00

場 所 バロー文化ホール 2階 練習室1

<出席者>

運営委員

渡邊 哲郎（多治見市教育長）【議長】	中澤 正仁（東濃教育事務所教育支援課
山田 恭正（土岐市教育長）	学校地域連携係）
田中 慎一郎（多治見市教育推進課長）	増田 文代（多治見地区高校生徒担当校長
大山 雅喜（瑞浪市社会教育課長）	（瑞浪高等学校）
籠橋 昭範（土岐市生涯学習課長）	荒木 康夫（コンビニ等防犯協会会長）
伊佐地 常範（東濃子ども相談センター所長）	山下 真十美（ピアゴ多治見店長）
兼松 美智夫（多治見警察署生活安全課長）	三浦 航一（瑞浪市PTA連合副会長）
	加藤 望（土岐市PTA連合副会長）

広域行政事務組合

虎澤 和洋（事務局長） 林 敏康（総務企画課）

東濃西部少年センター

加納 昭仁（所長） 柴田 弥生（事務）
坂井 正昭（指導主任）

1. 開 会

- (1) 所長あいさつ
- (2) 会議の成立の確認
委員16名中13名の出席で会議の成立を確認
- (3) 自己紹介
- (4) 委員長選出・あいさつ

2. 議 事

渡邊議長 改めましてこんにちは。暑い中ご苦労さまでございます。最近、子どもに関する事件が発生しています。そんな中で多くの目で子どもたちを見ることの大切さを感じております。今日はよろしくお願ひします。

① 平成30年度 歳入歳出決算について

加納所長 資料1「平成30年度 東濃西部事業特別会計」に基づき報告

質問なし

③ 平成30年度 声かけ活動並びに相談活動の結果について

加納所長 資料2「平成30年度 声かけ活動・相談活動の報告」に基づき報告

質問なし

3. その他

・ 東濃西部少年センター 相談活動について

加納所長 別資料「東濃西部少年センター 相談活動について」をご覧ください。相談件数について平成24年度から30年度までの推移を見ますと、平成24年度に延べ件数125件、相談人数96人あったものが、平成25年度に激減しています。相談人数で見えますと、平成25年度から28年度まで30人台が続き、平成29年度、30年度は20人台に減少してきています。どうしてなのかと考えますと、まず25年度に激減したことについては、平成25度にいじめ防止対策推進法が制定されました。私もこの時、学校現場にいましたが、学校内での相談体制をかなり強化しました。子どもたちにとって身近な学校の中で、アンケートや実際の様子を見る中で、子どもたちの小さな変化を身近な先生たちが取り上げて解消していきました。それによって減ったということがひとつ言えるのではないかと思います。

二つ目の表は東濃西部三市の児童・生徒数の推移です。これを見ますと、平成24年度から30年度までで小学生で約千人、小中高合わせて約二千五百人が減っています。少子化の波の中で子どもが減れば相談も減るのかなと感じているところではあります。

もうひとつは若者のSNS志向ということです。特にLINEに代表されるように、電話やメールから若者の志向が離れていっていることがあるのかなと思っています。資料の次のページは昨年3月発行した「センターだより」に載せたもので、「相談活動とSNS」について調べたものです。ここでは、SNSを活用した相談活動が可能なのかどうかについて、最初に試行した長野県教育委員会の事例を見ています。

長野県教育委員会はLINE(株)と連携協定を締結して、平成29年9月10日から2週間、午後5時から9時までの間、中高生を対象に相談を受け付けました。相談体制は外部の専門機関に業務を委託し、相談員10名で対応したということです。その結果、相談件数では平成28年度に長野県の学校生活相談センターが年間で259件だったものが、この時は2週間で547件になりました。

その内訳を見てみると、ひやかし等が89件あったことや、いじめ、交友関係、学校・教員の対応等についての深刻な相談の比率が少なかったという結果が出ております。そうした中で成果と課題ということを見てみると、潜在した相談へのニーズの発掘という点では「相談したい気持ち」を掘り起こすことについて成果があった。しかし、悩みの芽を早めに摘み取ることはできたのだけでも、実際には相談活動というものが傾聴、共感、寄り添い、助言していくものであることを考えると、SNSはとっかかりであって相談の主たる方法ではない。やはり電話なり面接なりで向き合って相談して行かないと本当の意味での成果は出てこないだろうということがあります。電話に切り替えて相談を継続する仕組みの構築が必要であること、電話相談に比べコストが割高になってくることで、実際にはSNSによる相談活動

が定着したものにはなっていないということです。全国的な動きとしては「全国SNSカウンセリング協議会」等で検討段階ということもあります。

昨年の広域議会で議員から「できればSNSによる相談に切り替えて欲しい」という意見もありましたが、現在の体制の中では簡単に出来ないことや、替えるためのコストや予算の問題もあり、子どもたちのSNS志向が分かっているながらも、SNSによる相談への切り替えは難しいという状況です。

相談件数が減っているという状況の中で、東濃西部三市の小中高生が悩みを抱えた時のために、いかに東濃西部少年センターの相談窓口を周知してもらうか、そのためにどうするかということで、いろいろと取り組んできました。

ひとつはクリアファイルです。毎年6月頃に、東濃西部の小中高生全員に配布しています。相談電話の番号やメールアドレスが書かれたものを学校の先生方に紹介していただきながら配っています。文字が小さいというご指摘もあったので、今年は必要な文字数にして、電話番号やメールアドレスを見やすくしました。

それから中高生には12月頃に、翌年のカレンダーが印刷されたカードにあんしんコール・あんしんメールを表記したものを配っています。

啓発活動に参加してくれた高校生には、そのお礼としてボールペンをお渡ししていますが、そのボールペンにもあんしんコールを記載しています。直接私から、「ここにこうして書いてあるので、皆さんの回りで悩んでいる子がいたら、「こういうところがあるよ」と言って教えてあげてください」と話して渡しています。

こんな風にPRしている訳ですが今後のあり方として、皆さん方で「こんな方法があるが、どうか」というご意見がありましたら、忌憚のないところでお聞かせいただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

渡邊議長 それではただ今の報告に付きまして、ご質問やご意見、アイデア等ありましたらお願い致します。

加納所長 ちなみに資料はありませんが、県に青少年育成県民会議という組織がありまして、そこに少年補導部会という分科会があり私も参加しています。全ての市が参加している訳ではないですが、その中での相談活動の件数を見てみると、当センターがめちゃくちゃ少ないという訳ではありません。たとえば岐阜市なんかは、少年センターという名前を取ってしまい、子どもの支援に関わる部分については、「岐阜市子ども・若者総合支援センター“エール岐阜”」という組織に0歳から若者まで全部まとめました。そこでの相談ですので1500件くらいで桁違いに多いです。

次に多いのが羽島市で、1500件くらいです。羽島市では教育委員会の中に総合支援センターという形で少年センター的な要素が含まれています。要は多治見市でいうと、教育委員会の教育相談室と少年センターを合わせたような形ですので、数が多いと思います。

その次に多いのは各務原市ですが、ここは少年センターとして独立しています。各務原市の次が東濃西部少年センターですが、子どもの人数等でほぼ同じくらいという中で、各務原市の方が若干多いという状況になっています。

他の市は非常に少なかったり、相談活動をやっていないというところですが、そういう中でいかにして子どもたちの悩み等に関わって行けるかということを考えて時に、何かできないかと思っているということでございます。

渡邊議長 ご意見いかがでしょうか。

・・・

それでは最後にセンターから今年度の4月から6月までの声かけ活動・相談活動について報告をお願いします。

・ 平成31年度4月～令和元年6月の声かけ活動・相談活動の実施状況について

坂井 資料「声かけ活動・相談活動（4月～6月）の報告」に基づき報告

渡邊議長 ただ今の報告に関連してご質問等ありますでしょうか。

・・・

よろしいでしょうか。それでは配布されている多治見警察署の資料「少年非行の概況」について兼松委員からお話しいただけないでしょうか。

兼松委員 資料は5月末現在のもので、今年の1月から5月末までの人数を前年度と比較しております。不良行為少年の人数は67人（23.1%）増えました。学職別で見ると、中学生が84人で高校生42人の2倍です。この中で不良行為を見ると多いのは喫煙と深夜はいかひになります。喫煙の低年齢化ということで、たばこが薬物の乱用に繋がってまいりますし、深夜はいかひを捉えてみてもよろしくない人との出会いがあるというようなことになってまいりますので、見かけたらしっかり声をかけていただければと思っております。

少年の非行の中では警察官に対する公務執行妨害事案がありました。また、中学生でしたが威力業務妨害といいまして、学校を爆破するというところで学校に電話を掛けたという事案がありまして、この子は検挙しております。

くどいようですが、不良行為少年については前年同期比67人増、幸い非行少年についてはマイナス2人、マイナスですがこれを2人しか減ってないとみるか、2人も減ったとみるのかはそれぞれの方の捉え方です。横ばいと見た方が良いと思います。概況としては以上です。

渡邊議長 ありがとうございます。委員の皆様、今のお話でなにかご意見、ご質問はありませんか。

よろしいですか。それでは荒木さん、コンビニについて、ちなみに万引きとか。最近はどうなんでしょう。

荒木委員 万引きとかは最近減っているのですが、今のお話でたばこについては、実はある子どもがコンビニでたばこを買ったという話があったのですが、良く調べてみると、親が買っている。親が買って、店を出た時点で子どもに渡している。そういう例がかなりある。前にもそういうことがありましたが、われわれコンビニとしてはすごく気を使っておるのですが、親が承知して渡していることがあるので、親の問題がかなりあるのではないかという気がしています。

渡邊議長 その他どうでしょう。PTAの方でなにか心配なこととか、この場で聞きたいこととか、センターに要望したいこととか・・・よろしいでしょうか。

それでは他になければ、本日はこれにて議事終了と致します。どうもありがとうございました。